

2210 | 日本画材料学

2 単位（通信授業 2 単位）

重政啓治教授、中野めぐみ講師

授業の概要と目標

日本画と言われる領域において、なじみのない言葉は多くある。また特異な言葉もさまざま存在する。それらに関する用語の内容と意味の深さを知ることは文化の重みや特色も感じることが出来る。

この科目は、制作を通してではなく、古来使われ続けている群青、白緑などから現在多様な色が存在する日本画の絵具を取り上げ、それらの体系的な解説をもとに知識を深める。また、日本画の制作時に用いられる用具用材として、絵具の接着剤、支持体、筆、制作の補助用具など、さまざまな描画材に関わる種類の体系を学ぶ。さらに、日本画の制作時に出てくる独特と言える用語についても、知識を深めることを目的とする。

課題の概要

○通信授業課題 1

日本画絵具分類表を、指定された形式で作成をする。

生活する身のまわりにある物で日本画絵具の素材になるものを探し、指定された形式に従い分類表の作成をする課題。

○通信授業課題 2

日本画の用具用材について、生活利用調査をする。

日本の地域の中で育った現在日本画と呼ばれている素材が、どのような所に活用されているかの実態調査と可能性についてレポートにまとめる課題。

*課題については学習指導書『造形文化科目・教職に関する科目 平成 29 年度』を必ず参照すること。

授業計画

教科書を読みながら学習を進め、通信授業課題に取り組む。

成績評価の方法

◎ 科目試験

履修条件及び履修年次

[履修年次] 1～4 年次

[履修条件] なし

[備 考] 履修年次は問わない。

教材等

教科書：重政啓治監修『日本画の用具用材』（武蔵野美術大学出版社 2010 年）

学習指導書：『造形文化科目・教職に関する科目 平成 29 年度』

（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017 年）